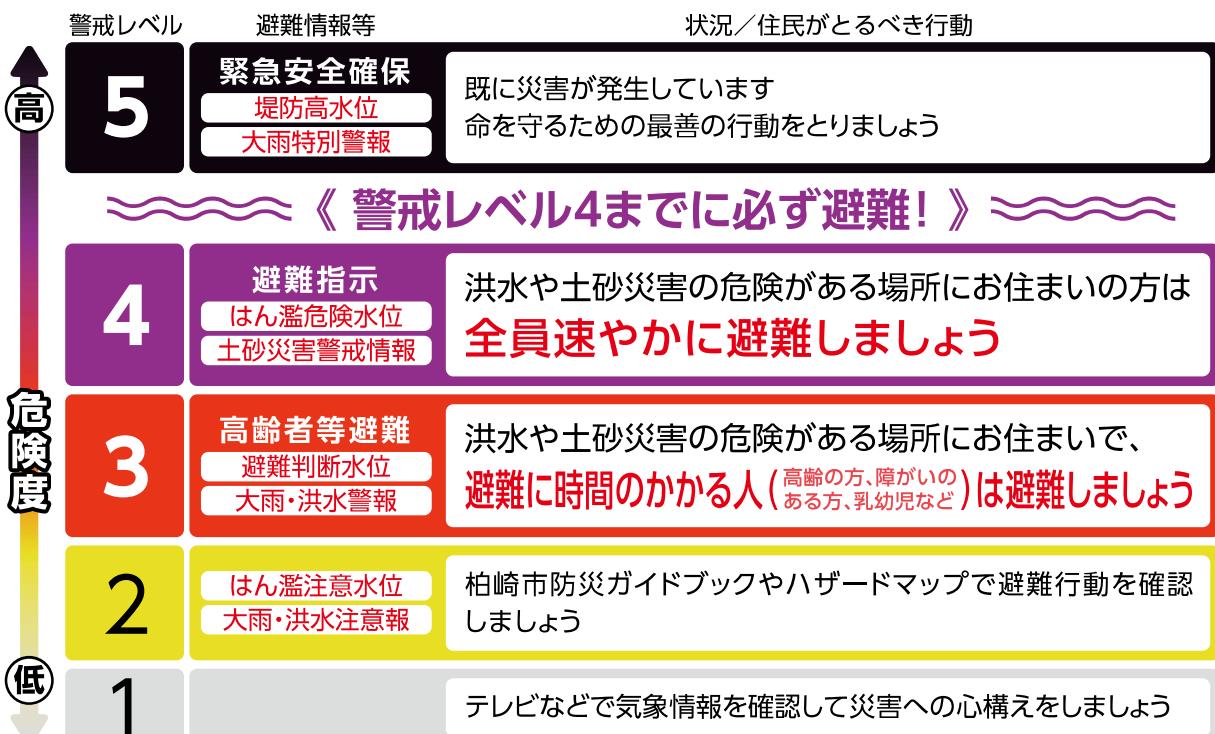


風水害から身を守ろう

警戒レベルについて

「警戒レベル」とは住民がとるべき行動を直感的に理解しやすくなるよう、5段階に明記した水害と土砂災害などにおける防災情報です。



緊急安全確保／避難指示／高齢者等避難は、必ず発令されるものではありません。市で状況を見て判断し、必要に応じて発令します。

洪水・土砂災害時における避難行動

指定緊急避難場所に行くことだけが「避難行動」ではありません。状況に応じてどのような行動にでるか判断しましょう。

※立ち退き避難が原則です

立ち退き避難 … 危険な場所から逃げる

【想定する対象】浸水想定区域内・土砂災害(特別)警戒区域内にいる方

- 避難行動
- 浸水想定区域外・土砂災害(特別)警戒区域外の親戚や知人宅へ行く
 - 危険な場所から逃げる
 - 指定緊急避難場所へ行く

▶ P23～30「指定緊急避難場所・指定避難所一覧」を参照

浸水時の避難 マンホールや側溝に注意する。傘や棒などで足元を確認する。
膝上まで水位が来ているときは救助を待つ。

避難時の服装

動きやすい服装に
レインコートを羽織る



屋内安全確保 … 屋内で身の安全を確保する

【想定する対象】警戒レベル4までに立ち退き避難ができなかった方
浸水想定区域外・土砂災害(特別)警戒区域外で不安のある方

- 避難行動
- 自宅の2階、山側ではない部屋へ移動する(垂直避難)
 - 屋内の安全な場所で待機

洪水時における避難情報の発令対象区域

水防計画に定められた水位に到達したときに発令します。発令は河川流域ごとの地区コミュニティ単位で避難を呼びかけます。対象区域は洪水ハザードマップ記載の「鵜川」「鯖石川」「別山川」をはじめ、各河川の浸水想定区域のうち、立ち退き避難が必要である最大浸水深が床上以上（浸水深0.5m以上）の世帯です。

※地区の全ての人が同じ様に避難する必要はありません。洪水ハザードマップを見て、自宅だけではなく、職場など、よく利用する施設の指定緊急避難場所も確認しましょう。

鵜川水系 (10地区)	鵜川・上条芋川・払川・田屋川・阿相島川・折居川 中央・比角・大洲・剣野・枇杷島・半田・高田・上条・ 野田・別俣	▶ 「洪水ハザードマップ」はP75~94を参照
鯖石川水系 (10地区)	鯖石川・塩沢川・岩之入川・鬼沢川・久之木川・広田川・ 高津川・黒姫川・小清水川・上島川・深沢川・西之入川・ 石黒川・石川・赤尾川・前戸川・中倉川・長鳥川・ 八重沢川・別山川・落合川	▶ 「洪水ハザードマップ」はP95~124を参照
別山川水系 (5地区)	別山川・鯖石川・吉井川・神成川・前谷地川・妙法寺川・ 坂田川・和田川・二田川・藤掛川・鎌田川・田沢川・ 荒谷川・灰爪川・後谷川	▶ 「洪水ハザードマップ」はP125~138を参照
その他河川 (7地区)	前川・谷根川・オガチ川・石地川・尾町川・大津川・ 二位殿川・大沢川・黒川	▶ 「洪水ハザードマップ」はP139~152を参照

※ただし対象区域外であっても危険を感じたら避難をしてください。

水害時は車での避難は危険！

原則として水害が起こる恐れがある時は車の運転は避けましょう。水がタイヤの半分まで浸かるとブレーキの性能が低下し、ドアステップまで浸かるとエンジンが停止する可能性が高いと言われています。

閉じ込められた場合は

脱出用ハンマーを常備しておき、窓を割って脱出します。

万が一の時に備えて車に脱出道具も積んでおきましょう。

